

## 東京蒲田病院

クローズアップ医療機関

心臓と下肢の循環器疾患に重点を置き、  
的確な診断と早期治療で患者の命を救う

泌尿器疾患や人工透析の治療に従事し、東京都大田区の地域医療を担ってきた黒田病院が、この秋、「東京蒲田病院」として新たに生まれ変わった。井上直人理事長に話を伺った。

地域住民の健康を守るため  
心臓血管センターを新設

東京蒲田病院の井上直人理事長は、東北でトックラスの治療実績を誇る仙台厚生病院でカテーテル治療のエキスパートとして研鑽を積んできた。新病院でも、心臓血管センターを中心に、狭心症や心筋梗塞、末梢動脈疾患(PAD)をはじめとした循環器疾患の予防と

治療に力を入れていくという。「特に注意が必要なのは、足の血管に動脈硬化が起こる『閉塞性動脈硬化症』や『重症下肢虚血』です。血管は全身に血液を運ぶという重要な役割を担っており、足の動脈に閉塞や狭窄があれば、同時に大動脈や頸動脈への危険性も高まっているといえます」と井上理事長は訴える。実際に足のしびれや痛みなどの初期

症状を放置しておく、足の切断を余儀なくされるだけでなく、約4割の患者が狭心症や心筋梗塞を発症して死に至っているという現状があるからだ。「そのため、足にしびれや痛みなどの症状がある方は、できるだけ早く検査をして適切な治療を受けることが望ましいといえます」

確実な診断と精度の高い  
治療の提供を目指す

同院では、動脈硬化を客観的に評価する血圧脈波検査装置であるABIやPWV、血管の状態を細部まで確認できる血管エコーなどを導入し、全身の動脈硬化を迅速に診断している。「今後は患者

待合ロビーの様子



カテーテル治療の際に、狭まった血管を内側から広げるためのステント。近年は改良が重ねられ、柔軟性に富んでいるのが特徴

最新のカテーテル治療システムを導入している



さんが気軽に受診できるよう、精度の高い診断を一日で行える低価格な心臓検査コースを導入する予定です。異常が見つければ、外科手術やカテーテル治療などのさまざまな選択肢から適切な治療を見極めて行っていくます」と井上理事長。

患者第一主義を貫く井上理事長は、病院全体のレベルアップのため、スタッフの育成にも余念がない。新病院の開院にあたっては、30代の熱意ある若手医師たちを心臓血管センターに配属し、活気に溢れた現場で診療に従事している。「自負するわけではありませんが、カテーテル治療には豊富な経験と実績があり、志

の高いスタッフも揃っています。確実な検査と診断から、適切な治療までをしっかりと提供できる病院として、地域の人々の健康を守っていききたいと思っています」

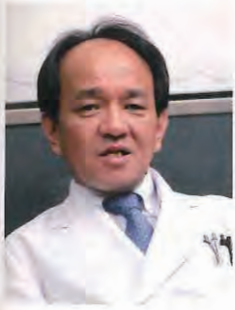
取材/秋元愛

医療法人社団 森と海 東京 東京蒲田病院

診療科目：内科、循環器内科、呼吸器内科、精神科、外科、整形外科、リハビリテーション科、消化器外科、脳神経外科、泌尿器科

受付時間：月～土 8:30～12:15 / 13:30～16:45

休診日：日・祝

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-10-1  
TEL.03-3733-0525 FAX.03-3733-2871  
http://www.t-kamata-hosp.or.jp

理事長 井上直人

のうえ・なおと ●1982年、京都府立医科大学医学部卒業。同大学附属病院、松下病院、京都第二赤十字病院を経て、2007年より仙台厚生病院循環器内科主任部長。12年、東京蒲田病院開院、理事長へ就任。日本循環器学会認定循環器専門医、日本超音波医学会認定超音波専門医、日本心臓血管インターベンション治療学会監事、PCI technical education course (PTEC) 世話人